

2026年3月期第3四半期 決算説明資料

2026年1月29日

NECキャピタルソリューション株式会社

2026年3月期第3四半期 決算説明資料

1. 2026年3月期第3四半期 実績報告

- 1) 決算ハイライト
- 2) 事業環境
- 3) 業績概要
- 4) 事業別損益
- 5) 事業別の営業状況
- 6) リース事業の営業状況
- 7) ファイナンス事業の営業状況
- 8) インベストメント事業の状況
- 9) 営業資産残高の状況
- 10) 資金調達の状況
- 11) 与信関連費用

2. 2026年3月期 計画

1. 2026年3月期第3四半期 実績報告

1) 決算ハイライト

事業環境

業界全体のリース取扱高は前年同期比1.6%増加

資金調達環境や倒産状況は引き続き今後の動向に注視が必要

営業実績

リース事業は、GIGA案件及び官公庁大型案件計上から契約実行高・成約高共に前年同期比大幅増加

ファイナンス事業は、契約実行高・成約高共に前年同期比減少

< リース事業 > 契約実行高： 16.0%増加 成約高： 37.9%増加

< ファイナンス事業 > 契約実行高： 9.1%減少 成約高： 8.9%減少

経営成績

前年同期比で增收増益

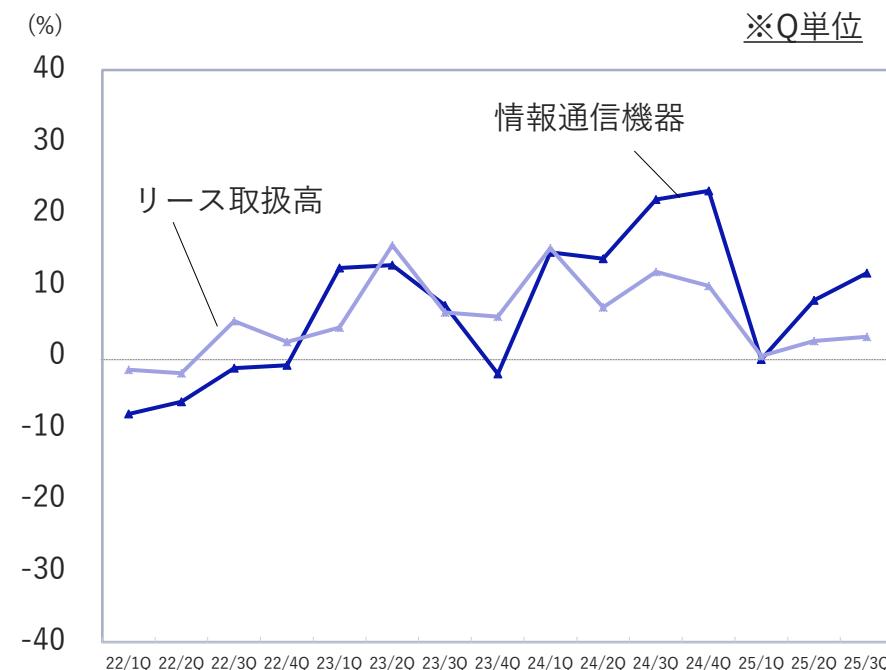
最終利益は前年同期比13.4%増

2) 事業環境

リース取扱高 業界全体は前年同期比1.6%増加、当社主力の情報通信機器は前年同期比6.5%増加

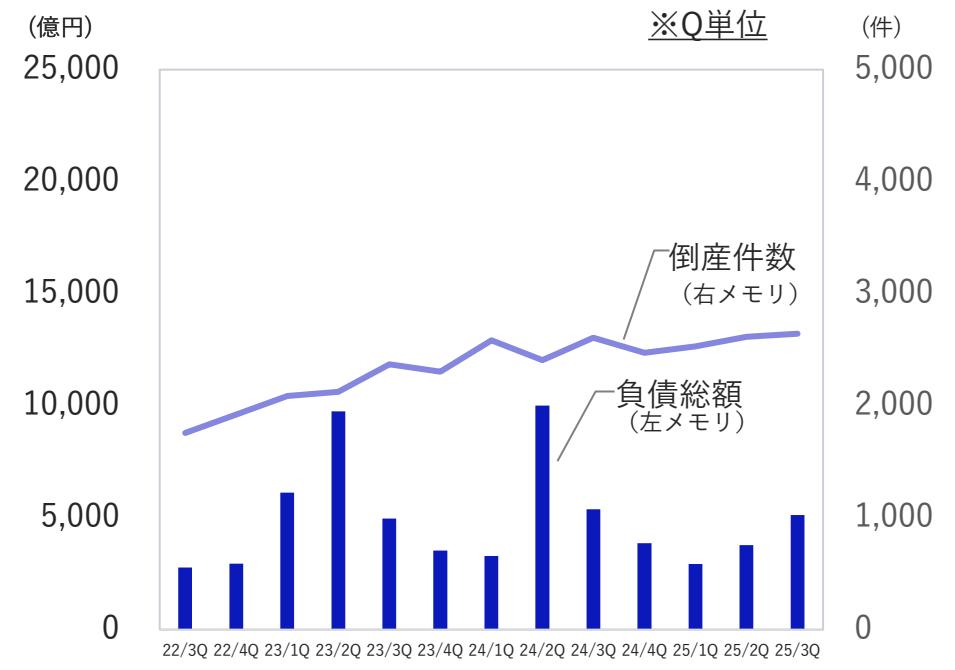
倒産状況 負債総額は前年同期比で減少したものの、倒産件数は前年同期比微増

リース取扱高動向（前年同期比推移）



(社団法人リース事業協会：リース統計より)

倒産状況（負債総額/件数）



(帝国データバンクHP：倒産集計より)

3) 業績概要

売上高

リース事業の伸長や販売用不動産の物件売却等により前年同期比9.2%増加

最終利益

売上高の伸長により資金原価及び販管費の増加分を吸収し、最終利益は前年同期比13.4%増

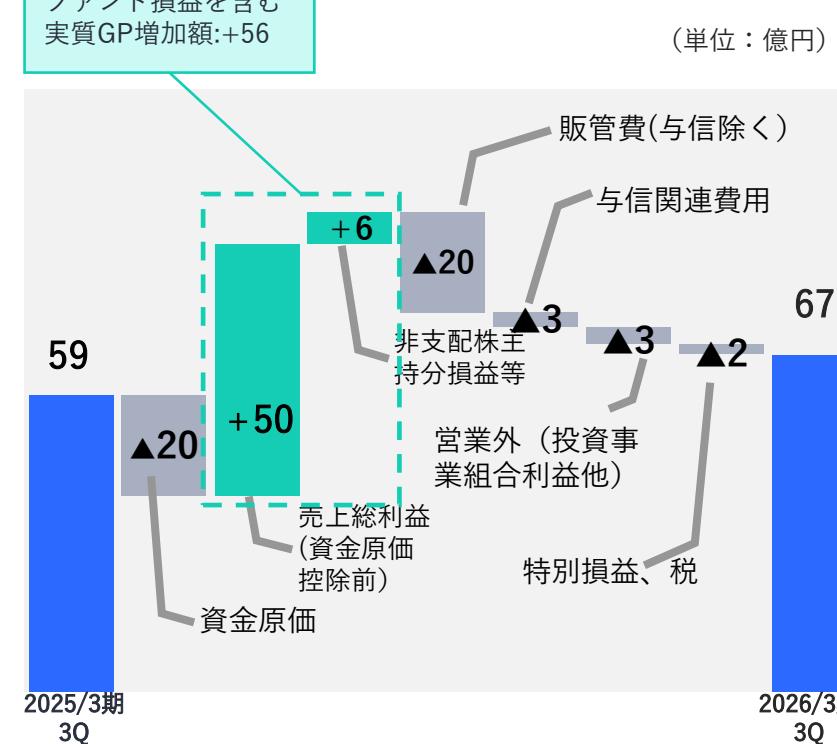
業績数値

(単位：億円)

	2025/3期 3Q	2026/3期 3Q	前年同期比
売上高	1,895	2,070	+9.2%
営業利益	64	71	+10.9%
経常利益	83	86	+4.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	59	67	+13.4%
1株当たり四半期純利益	275円43銭	312円33銭	—
営業資産残高	9,916	11,225	+13.2%

	2025/3期 年間	2026/3期 3Q	前年比
純資産	1,424	1,478	+3.8%
自己資本	1,210	1,253	+3.5%
自己資本比率 (%)	9.9	10.1	—

最終利益 前年同期比主要増減要因



4) 事業別損益

事業別損益

(単位: 億円)

		2025/3期 3Q	2026/3期 3Q	前年同期比
リース 事業	売上高	1,706	1,785	+4.6%
	売上総利益	121	133	+10.6%
	営業利益	34	49	+42.0%
ファイナンス 事業	売上高	59	60	+2.0%
	売上総利益	38	34	▲9.9%
	営業利益	22	11	▲52.2%
インベストメント 事業	売上高	104	144	+39.1%
	売上総利益	51	62	+20.9%
	営業利益	22	22	▲2.1%
その他の 事業	売上高	28	82	+190.3%
	売上総利益	13	23	+78.0%
	営業利益	1	7	+431.2%
計	売上高	1,895	2,070	+9.2%
	売上総利益	222	252	+13.6%
	営業利益	64	71	+10.9%

リース事業

営業資産の積み上げが奏功し、前年同期比增收増益

ファイナンス事業

フィー収入の増加等により売上高は増加したものの、営業利益は貸倒引当金計上等に伴い前年同期比減少

インベストメント事業

ファンド保有の事業会社売却等により、売上高、売上総利益は増加したものの、人件費の増加等により営業利益は前年同期比並み

その他の事業

販売用不動産売却や不動産賃貸収入の増加等に伴い、前年同期比增收増益

5) 事業別の営業状況

事業別契約実行高

(単位：億円)

	2025/3期 3Q	2026/3期 3Q	前年同期比
リース事業	1,613	1,871	+16.0%
賃貸事業	1,516	1,779	+17.3%
割賦販売	97	93	▲3.9%
ファイナンス事業	2,450	2,226	▲9.1%
営業貸付金	1,616	1,432	▲11.4%
一括ファクタリング	834	794	▲4.7%
その他の事業	27	—	—
計	4,089	4,098	+0.2%

事業別成約高

(単位：億円)

	2025/3期 3Q	2026/3期 3Q	前年同期比
リース事業	1,901	2,621	+37.9%
賃貸事業	1,810	2,526	+39.6%
割賦販売	91	94	+4.0%
ファイナンス事業	2,443	2,225	▲8.9%
営業貸付金	1,609	1,431	▲11.1%
一括ファクタリング	834	794	▲4.7%
その他の事業	79	—	—
計	4,423	4,846	+9.6%

事業別契約実行高・事業別成約高

リース事業（賃貸事業）は前年同期比で大幅増加した一方、ファイナンス事業は前年同期比減少
全体では前年同期比増加

6) リース事業の営業状況

業種別契約実行高

(単位：億円)

	2025/3期	2026/3期	前年同期比
	3Q	3Q	
官公庁	883	1,140	+29.2%
民需	730	731	+0.1%
サービス業	246	263	+7.0%
流通業	119	138	+16.1%
製造業	199	168	▲15.9%
その他	167	163	▲2.3%
計	1,613	1,871	+16.0%

業種別成約高

(単位：億円)

	2025/3期	2026/3期	前年同期比
	3Q	3Q	
官公庁	1,208	1,965	+62.7%
民需	693	656	▲5.4%
サービス業	232	245	+5.5%
流通業	112	113	+0.9%
製造業	199	148	▲25.4%
その他	150	149	▲0.4%
計	1,901	2,621	+37.9%

(参考) 機種別契約実行高

(単位：億円)

	2025/3期	2026/3期	前年同期比
	3Q	3Q	
情報通信機器	1,314	1,490	+13.4%
電子計算機及び関連装置	698	829	+18.9%
ソフトウェア	515	578	+12.2%
通信機器及び関連装置	101	82	▲19.1%
事務用機器	120	117	▲2.4%
その他機器	179	265	+47.9%
計	1,613	1,871	+16.0%

業種別契約実行高

- 官公庁は、GIGA案件及び大型案件の積み上げ等により前年同期比大幅増加
- 民需は、製造業やその他は減少も前年同期比微増

業種別成約高

- 官公庁は、GIGA案件及び大型案件等の積み上げ等により前年同期比大幅増加
- 民需は、製造業の減少等により前年同期比減少

7) ファイナンス事業の営業状況

契約形態別契約実行高

(単位：億円)

	2025/3期 3Q	2026/3期 3Q	前年同期比
立替・APF・割賦バック	120	118	▲2.0%
個別ファクタリング	836	417	▲50.1%
一括ファクタリング	834	794	▲4.7%
企業融資	588	834	+41.9%
その他	72	63	▲12.7%
計	2,450	2,226	▲9.1%

業種別契約実行高

(単位：億円)

	2025/3期 3Q	2026/3期 3Q	前年同期比
官公庁	1	1	▲40.4%
民需	1,615	1,432	▲11.4%
サービス業	122	128	+4.8%
流通業	31	33	+4.3%
製造業	902	476	▲47.3%
金融業・保険業	164	213	+29.8%
不動産業	243	440	+81.4%
その他	152	141	▲7.1%
一括ファクタリング	834	794	▲4.7%
計	2,450	2,226	▲9.1%

契約形態別契約実行高

ファクタリングの落ち込み等から全体は前年同期比減少したものの、注力する企業融資は前年同期比大幅増加

業種別契約実行高

企業融資が多い不動産業が前年同期比大幅増加したものの、個別ファクタリングの多い製造業では前年同期比減少

8) インベストメント事業の状況

事業別損益

(単位: 億円)

		2025/3期 3Q	2026/3期 3Q	差異
アセットビジネス	売上高	40	104	64
	売上総利益	27	40	13
	営業利益	8	12	4
不動産	売上高	60	36	▲24
	売上総利益	20	18	▲2
	営業利益	14	10	▲4
アドバイザリー	売上高	4	4	0
	売上総利益	4	4	0
	営業利益	1	0	▲0
連結ベース 計	売上高	104	144	40
	売上総利益	51	62	11
	営業利益	22	22	▲0

※「調整額」を除いて表示

アセットビジネスの伸長により、売上高及び
売上総利益は増加、販管費の増加に伴い
営業利益は前年同期並み

アセットビジネス

ファンド保有の事業会社売却や買取債権、金利
収益等の増加により前年同期比で増収増益

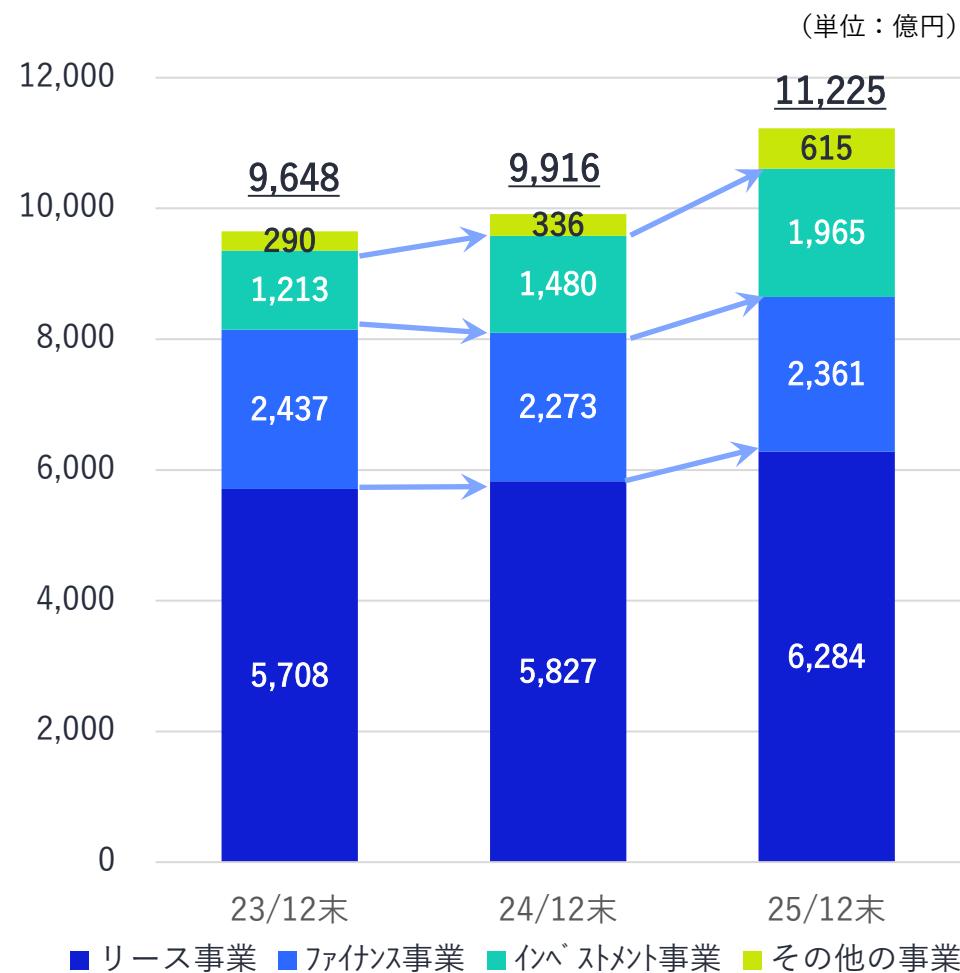
不動産

前年同期の大型案件売却により前年同期比で
減少したものの、着実に収益を計上

アドバイザリー

前年並みの推移

9) 営業資産残高の状況



全事業において前年同期比増加

リース事業

GIGA案件及び官公庁大型案件等の資産計上により前年同期比457億円増加

ファイナンス事業

アセットの入れ替えを推進し前年同期比88億円増加

インベストメント事業

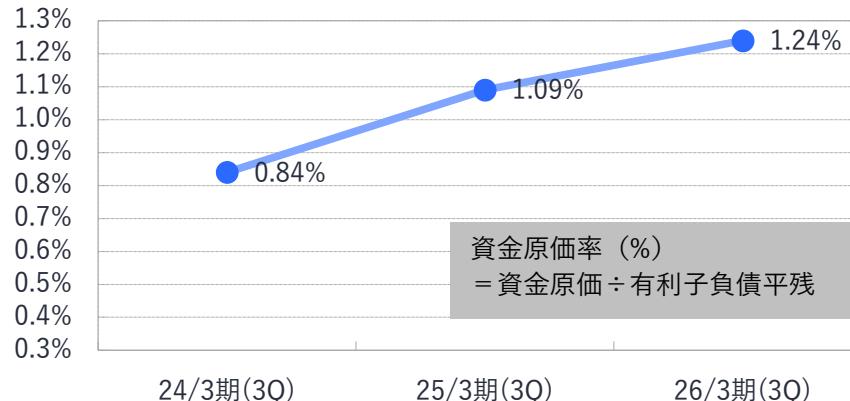
投資活動の進展により前年同期比485億円増加

その他の事業

レジデンス等の不動産の取り組み進展から前年同期比279億円の増加

10) 資金調達の状況

資金原価率

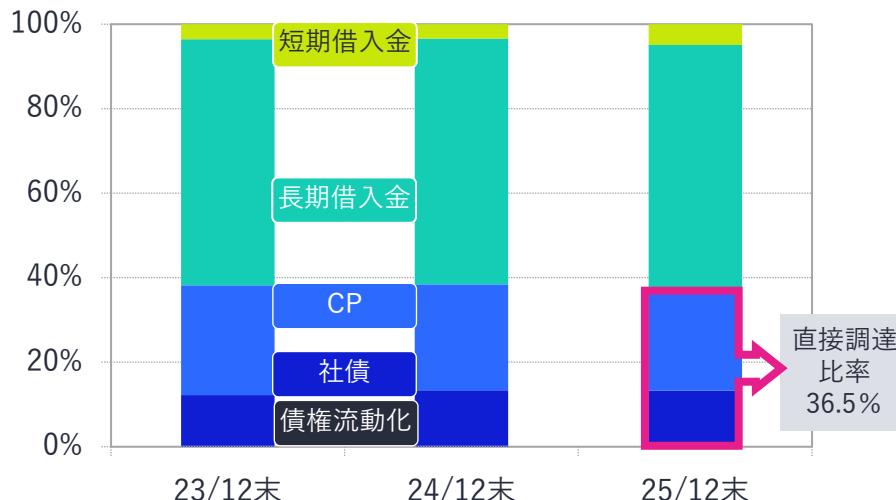


有利子負債残高

(単位: 億円)

	2024/12末	構成比	2025/12末	構成比	増減
短期借入金	310	3.4%	497	4.9%	+188
長期借入金	5,255	58.2%	5,948	58.5%	+692
CP	2,260	25.0%	2,370	23.3%	+110
社債	1,186	13.1%	1,331	13.1%	+145
債権流動化	23	0.3%	19	0.2%	▲4
計	9,034	100%	10,165	100%	+1,131

有利子負債構成比



資金原価率

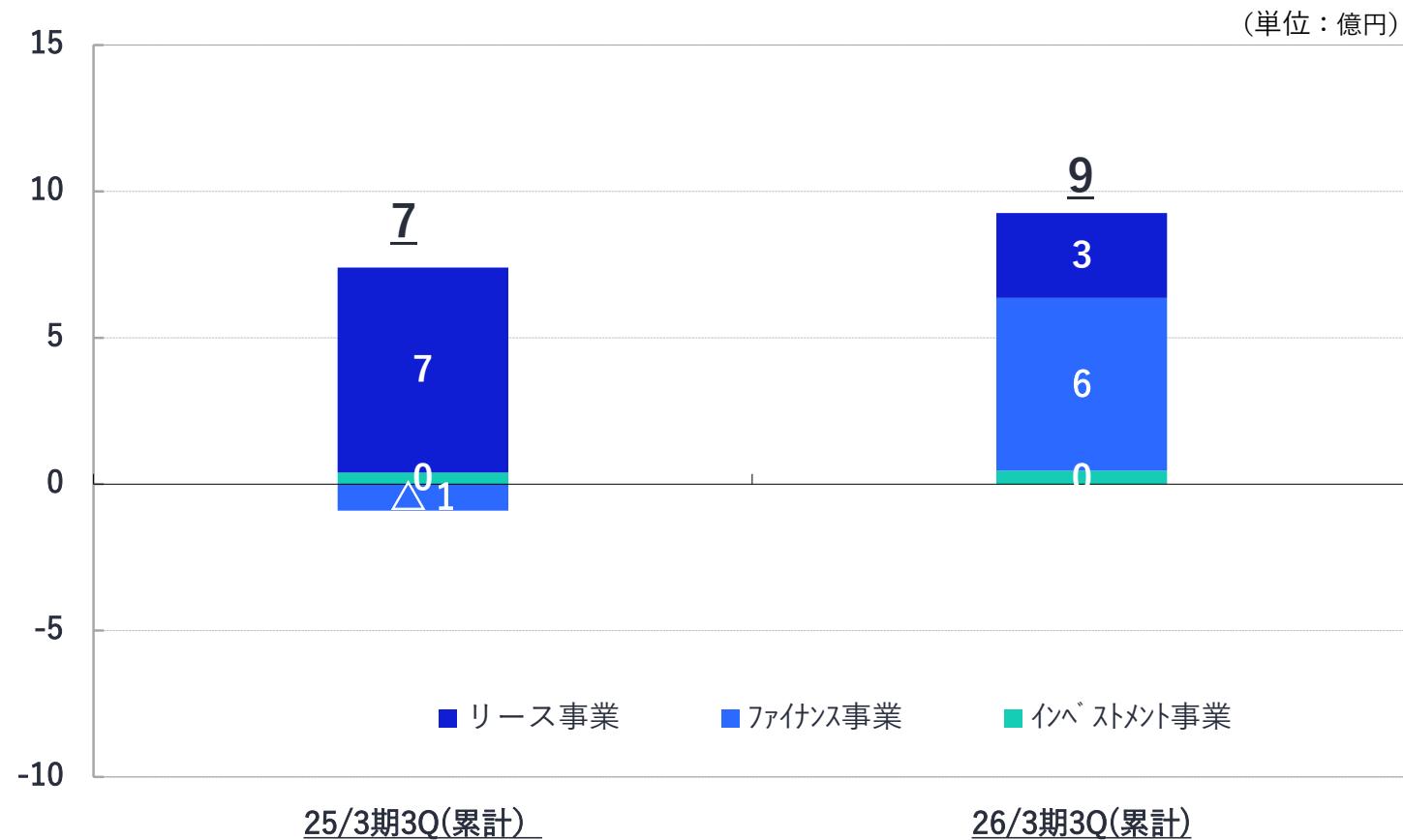
外貨金利は低下したものの、円金利の上昇等に伴い、前年同期比0.15ポイント増加の1.24%

直接調達比率

おおむね40%程度を目線とし、2025/12末は36.5% (2024/12末38.4%)

11) 与信関連費用

リース事業で減少したものの、ファイナンス事業の与信コストが増加し、前年同期比で2.8億円の増加



2. 2026年3月期 計画

1) 業績予想

- 各事業の収益拡大に加え、SBI新生銀行グループとの事業シナジーを創出することにより各項目において過去最高値更新を計画
- 2026年3月期の1株当たりの配当金は、前期と同様の年間150円を予想

業績予想

(単位：億円)

	2026/3期 3Q(実績)	2026/3期 年間(予想)
売上高	2,070	2,950
営業利益	71	155
経常利益	86	160
親会社株主に帰属する純利益	67	100
1株当たり純利益 (円)	312円33銭	464円25銭

1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	年間
2025/3期 実績	75円00銭	75円00銭	150円00銭
2026/3期 予想	※実績 75円00銭	75円00銭	150円00銭

NECキャピタルソリューション グループビジョン

次世代循環型社会をリードする
Solution Company



NEC

\Orchestrating a brighter world